

特集 八王子の農業

市長コラム



八王子市長
石森 孝志
たか ゆき

活力ある自立都市の実現に向けて

新年あけましておめでとうございます。昨年本市は、基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」に基づき、新たな10年のスタートを切りました。市民の皆様のお力添えを頂きながら、活力ある自立都市の実現に向けて、順調な滑り出しができたものと自負いたしております。

具体的には、懸案であった圏央道八王子西インターチェンジのフル機能化が、平成27年度中の実現に向け大きく前進。JR八王子駅北口マルベリーブリッジ延伸工事についても、いよいよ本年3月に完成の運びとなりました。これら基盤整備の推進が、地域経済のさらなる活性化へつながっていくものと確信しております。

一方、平成27年4月を目標として準備を進めている中核市移行につきましては、過日、東京都の同意をいただき、いよいよ総務大臣への申入れを行うこととなります。移行を契機に、八王子の地域特性を活かした「ワンランク上のまちづくり」を進めていく所存です。

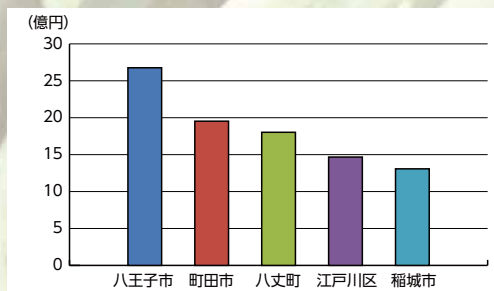
豊かな自然や伝統文化をはじめ、さまざまな資源と魅力に恵まれている八王子市。協働のパートナーである市民の皆様、このまちの住民であることを誇りに思っていただけのように、多摩のリーディングシティにふさわしいまちづくりに、本年も全力で取り組んでまいります。

第1章 八王子の農業を知る

都内随一の農業生産高を誇る八王子。しかしその事実には市民の皆さんにあまり知られていないのではないのでしょうか。八王子の農業とは——その現状を探ります。

農業生産高 都内1位なんです

平成23年都内農業産出額比較



(上位5位まで。「東京都農作物生産状況調査結果報告書」より)

私たちの生活に欠かすことができない「食」を支える農業。ほうれんそう、小松菜、じゃがいも、大根、なす、トマト——さまざまな農産物が八王子でも生産されています。

昨年は、食品偽装や産地偽装など食の問題がクローズアップされました。産地や流通の信用が大きく揺らぐ中、地域で生産された農産物が、安全・安心なものを求める消費者からも注目されるようになっていきます。

都内1位の農業生産高を誇る八王子。さらに地元農業を活性化しようと、若手後継者などによる新たな挑戦も始まっています。

八王子の農業の現状やその魅力を教えてくれる人・場所を訪ねてみました。きっと新しい発見があるはずです。



プロフィール

昭和53年に八王子農協(現JA八王子)に入職。農業の技術・経営に関する指導業務を経て、今では総括的に八王子農業の発展に貢献している。

八王子の農業は「東京の縮図」、多種多品目を生産

JA八王子指導経済部部長
田中 和敏さん

野菜・果物・花の生産はもちろん、稲作や酪農など、都内ではほかに見られないほど、このまちではさまざまな種類の農産物を生産しています。そのため、八王子の農業は「東京の縮図」と言われることも。広い耕地面積に加えて農耕に適した肥沃な土壌を持つっており、農業生産高は都内1位の約27億円を誇っています。大きな特徴は、消費地と生産地が身近にあること。「都市農業」と呼ばれるこの農業形態には、消費者は生産者から新鮮な農産物を購入することができ、生産者は多くの消費者に効率的に販売することができるといった利点があります。

近年、消費者の食の安全・安心への関心が高まったことにより、生産者の顔が見える地場産の農産物が注目されるようになっています。

り、市内で直売所が増えました。都市農業がさらに促進されたことで、このまちの農業は大きく変化しています。特に流通においては、市場を介さずに農家が直接スーパーや直売所などに農産物を持ち込んで販売する割合が大きくなりました。道の駅八王子滝山ができてからはさらに直売方式が促進されたため、「八王子産」と表示された野菜を目にする機会が増えたのではないのでしょうか。さまざまな手段で販売することが可能になったことで、流通がますます活発になっています。

地元の農産物を手に取って

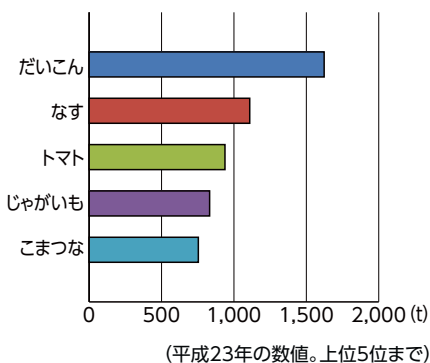
農業従事者の高齢化に伴う後継者問題や、利用されていない農地の活用などは全国的な課題であり、八王子も例外ではありません。しかし、都や市などの補助制度を利用して新たに農業を始める方や、定年後に始める方など、新たな担い手も少なからずいます。また、市内農家の方々は、消費者のニーズに応えるため、意欲的にさまざまな工夫や挑戦をすることで、このまちの農業を活性化させようと尽力しています。

市民の皆さんには、ぜひ「八王子産」と書かれた農産物を手に取っていただき、地元農業を応援してもらえたらうれしいです。

数字で見る 八王子農業の特徴

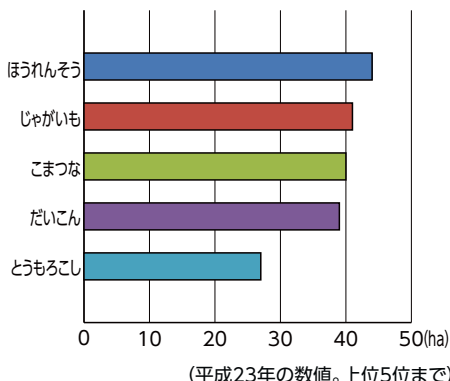
野菜作付面積

どの野菜も作付面積に大きな差はありません。このことから、さまざまな野菜を生産していることが分かります。

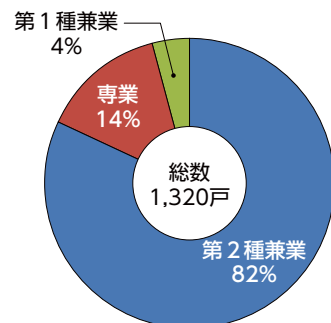


収穫量

トマトは作付面積に対して収穫量が多く、単価が高いため、品目別の産出額1位です。だいこんは、土の質が生産に向いています。



出典：東京都農作物生産状況調査結果報告書
(農家戸数は「2010年農林業センサス」より)



第1種兼業…農業所得を主とする兼業農家
第2種兼業…農業所得を従とする兼業農家

農家戸数

専業農家は少なく、ほかにも収入源がある農家が約9割を占めています。これは、都内の農家の特徴でもあります。

第2章

「特産品づくり」にかける思い

八王子は、さまざまな農産物を生産する一方で、「特産品」といえるものがあまりありません。八王子の農産物の魅力に気づき、その可能性にかける方々がいます。

八王子こがねしょうが

古くから郷土の農産物として作られてきた葉ショウガ。昨年7月、「八王子こがねしょうが」というブランドが立ち上がり、生産者のグループが設立されました。仕掛け人である普及指導員の方の思いとは――



宇津木 栄司さん

50歳。都の普及指導員として都内各地の農業振興に取り組む。現在は南多摩農業改良普及センターに勤務。八王子在来の葉ショウガに出会い、ブランド化を推進する。

守り続けられてきた在来種を家庭に

八王子では古くから葉ショウガが作られてきました。その種ショウガは生産者各々により独自の保存法で守られ、冬を越してきました。ショウガはもともと温暖な地方の作物ですから、寒さの厳しいこの土地の冬を越すには、たくさんの工夫と苦労があったはず。

山で毎年行われる「ショウガ祭り」で、一昨年の9月、お客さんたちに、ほかの地方産の葉ショウガと食べ比べていただき、その場でアンケートを実施したんです。結果は歴然。約8割の方が、八王子産の方が美味しいと答えてくれたんですよ。この葉ショウガは差別化できる、お客さんをひきつけられる、そう確信しましたね。

これをきっかけに昨年7月、「八王子こがねしょうが」という名前を付けブランド化し、J-A八王子で生産グループを設立しました。長い歴史を持つ八王子の葉ショウガですが、広く知られていないとは決して言えません。まず1度、この葉ショウガを食べてほしいですね。皆さんに、さわやかな味わいを知っていただきたいです。



旬は8月から10月。一般的な葉ショウガより筋っぽくなく、さわやかで、辛みが少ないのが特徴。甘みもあり食べやすい。生食はもちろん、酢漬や佃煮（つくだに）にして食べる。

生産者を訪ねて



村内 米吉さん
(加住町一丁目・83歳)

祖父の代から葉ショウガを生産しています。「八王子こがねしょうが」は病気に弱く、とてもデリケート。育てるのが難しいんです。また、種ショウガの冬越しにも気を使いますね。保存中に冷えてしまうと使えなくなってしまうので、温度を一定以上に保つ必要があります。

ブランド化を機に、八王子の葉ショウガを知る人が増えてほしいですね。



種ショウガの保存場所



パ ッ シ ョ ン フ ル ー ツ

旬は8月中旬から10月上旬、12月まで収穫可能。食べ方は、実を半分に切って中身をスプーンですくうだけ。種ごと食べられる。果実の甘い香りとほど良い酸味が絶妙。ヨーグルトなどの相性が良く、上からかけてもおいしい。

小笠原諸島などの亜熱帯で栽培されることが多い「パッションフルーツ」。JA八王子パッションフルーツ生産組合では、八王子でも栽培に挑戦し、まちの特産品にするべく活動を広げています。

地元で定番の特産品をめざして

きっかけは、5年前に現組合員の一人が小笠原諸島からパッションフルーツの苗を持って帰ってきたことでした。葉が青々としているため、当初は緑のカーテンにしようと思いを始めたそうです。すると、驚くほど甘くておいしい実が。秋にかけて暖かい八王子の気候に向いていると、栽培を勧められました。それが広がり、今では8人がそれぞれで生産に取り組んでいます。未知の果実の栽培に戸惑うことも。試行錯誤を重ね、収穫量を増やしていききました。道の駅八王子滝山などへの出荷のほかにも、お店で加工して商品に使ってもらおうと、飛び込みで営業をすることもありました。

しさをもつと多くの人に知ってもらいたいと思うようになりました。そこで意識するようになったのが「特産品化」です。そのため、安定した供給を信頼してもらえよう組織を作ることに必要だと思い、昨年の2月に組合を立ち上げました。

昨年「八王子T・1グランプリ」で最優秀賞などを受賞した菓子をはじめ、ケーキやゼリーなどさまざまな商品に使ってもらえるようになってきました。しかし、パッションフルーツ自体の認知度が低いため、特産品として認められるには、地元の人に知ってもらう必要があります。まずは、生産量を増やし、手に取ってもらえる場所を増やしていきたいです。年に1回は食べてもらえようかな定番になってほしいですね。



澤井 孝行さん

高月町在住。49歳。JA八王子パッションフルーツ生産組合 (<http://www.ja802passion.com>) の組合長としてパッションフルーツの普及に尽力している。

第3章 地産地消、八王子を味わう

地産地消とは、地元で生産されたものを地元で消費すること。八王子で生産された新鮮で安全・安心な農産物を日々の食卓に並べてみてはいかがでしょうか。

道の駅八王子滝山

問い合わせ ☎696・1201 FAX696・1207

地元で生産された旬の農産物を取りそろえ、地産地消を応援しています。ほかにも、農業体験など地元農業と皆さんをつなぐさまざまなイベントも開催。ぜひご利用ください。

新鮮な農産物を 味わう

ところ狭しと並ぶ野菜は、その日の朝に市内農家の方が直接持ち込んだもの。丹精込めて作られた野菜は、収穫してから時間を置かず店頭に並ぶため新鮮なままです。残りが少なくなってきたてもすぐに持ってきてくれるため、いつでも旬の野菜を購入することができます。

ほかにも、八王子産の米や卵、東京のブランド豚TOKYO X、季節の花・植木などさまざまな農産物を取りそろえています。



農業を 体験する



農地が減りつつある今、子どもたちが農業に触れる機会も減っているのではないのでしょうか。いつも食べている野菜がどのようにできているのか体験しながら学ぶことは、食育の一環としても大切です。道の駅八王子滝山では、農業に対する理解を深めていただくため、親子で農業を体験できるイベントを開催。春はたけのこ、夏はトウモロコシ、秋には大根など、季節ごとの農作物を収穫することができます。

野菜がどのように生えているのか知らない子どもたちに、実際に見て触れてもらうことで、農業について考える機会にしてほしいと思っています。

一番大切なのは楽しんでもらうことです。自分が関わった野菜は、よりおいしく感じるもの。その喜びを感じてもらいたいです。そして、地元の農産物に愛着を持ってもらえたらうれしいですね。



宮城 博保さん
(谷野町)

体験を受け入れている
農家の方に伺いました

わたしたちが、八王子の味をお届けしています



ミルクアイスMO・MO
金子 キミ代さん

「純八王子産」のジェラート

八王子産の材料を使ってジェラートを製造・販売しています。ミルクや野菜・果物は、自分で作ったものが中心で、新鮮なうちに加工しています。

一番の幸せはお客様の笑顔。リピーターもとても多く、季節のメニューなどを心待ちにしてくれています。

新メニューの開発など、今後も常にチャレンジし続けます。お客さんには、ジェラートを食べていただく中で、使われているミルク・野菜のこと、農業のこと、色々なことを知っていただきたいですね。



お惣菜「はちまきや」
小俣 松子さん

新鮮野菜で家庭料理

女性農家3人でお惣菜の製造・販売をしています。使っている野菜は自分たちの畑で採れたものも含め、ほとんどが八王子産。旬の食材で作った「お母さんの味」を提供しています。

種から丹精込めて育てたものをおいしいと言ってもらえることはとてもうれしく、やりがいを感じます。

これからも新鮮な野菜で作った家庭の味をお届けしていきます。食べたいと思ってもらえるようなメニューもさらに増やし、八王子産の魅力を伝えていきたいです。



農産物直売所出荷組合
組合長 大澤 敬之さん

安全・安心な八王子産

出荷組合は地元農家170軒で組織され、直売所「ファーム滝山」に毎朝新鮮な農産物を持ち込んでいます。

安全に生産されているか確認を徹底しているため、安心して手に取っていただけます。生産者の名前も表示しており、気に入った生産者のものを選んで買っていく方も。農家もおいしいものを作ろうと意欲的に取り組んでいます。

珍しい農産物が手に入るのも魅力の一つ。新鮮で安全・安心な八王子産をぜひ食べてみてください。

地産地消を応援

地場産の新鮮野菜や加工品などを販売しています。

JA八王子ふれあい市場

所在地 大和田町5-15-3
営業時間 午前8時30分～午後4時30分
問い合わせ ☎642・3885、FAX645・9078

農産物直売所ねぎぼうず

所在地 小比企町3504
営業時間 午前9時～午後5時
問い合わせ ☎632・2800、FAX632・2810

JA八王子タやけ小やけふれあいの里直売所

所在地 上恩方町2030
営業時間 午前9時～午後4時30分(11～3月は4時まで)
問い合わせ ☎652・4184、FAX652・4184

JA八王子園芸センター

所在地 犬目町478-2
営業時間 午前8時30分～午後4時30分
問い合わせ ☎626・0431、FAX623・0399

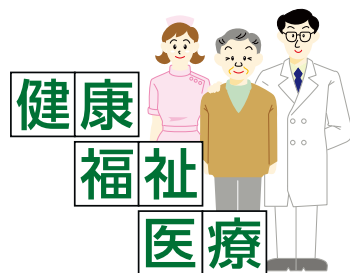
市内の直売所を紹介 農産物直売所マップ

市では、多くの方に新鮮でおいしい農産物を食べていただくとして「はちおうじ農産物直売所マップ」を作成しました。

市のホームページなどでご覧になれるので、身近な場所にある直売所を探すガイドとしてぜひご利用ください。



※年末年始は休業の場合がありますので、ご確認の上お出掛けください。



健診・がん検診の受診期間を 2月10日まで延長

市が行う特定健康診査やがん検診などの受診期間を2月10日まで延長します。1月に受診できない方など、ぜひ受診してください。期間を延長していない医療機関などもありますので、必ず受診前に医療機関にお問い合わせを。なお、がん検診の予約期限は2月7日です。問い合わせは成人健診課 ☎620・7428へ。

20歳になったら 国民年金に加入を

20歳を迎える方には、日本年金機構から国民年金に加入するための書類が送付されます。市役所、または各事務所で加入手続きをしてください。誕生日の後に年金手帳、その約2週間後には納付書が年金事務所から送付されます。問い合わせは八王子年金事務所 ☎626・3511、または保険年金課 ☎620・7238へ。

20歳になった障害のある方は 障害基礎年金の請求を

20歳前に初診日のある病気やケガで、日常生活に支障をきたしている方は、20歳になると障害基礎年金が受けられます。ただし、障害の程度や本人の所得額などの制限があります。請求方法など、詳しくは保険年金課 ☎620・7238までお問い合わせください。

家族介護者に慰労金を支給

介護保険の要介護度「4」または「5」の方を在宅で介護しているご家族に、慰労金10万円を支給します。ただし、世帯全員の市民税が非課税であることや、申請日から過去1年間に介護保険サービスを利用していないなどの要件があります。

また、これまでに慰労金を受給した方は、前回の申請日から1年以上経過していないと申請することができません。詳しくは高齢者福祉課 ☎620・7420までお問い合わせください。

健診データ改善相談

対象 市内在住で血糖値・コレステロールや中性脂肪・血圧が気になる方、またはその家族 日時 1月7～24日(土・日曜日、祝日を除く)の午前9時30分～午後3時30分(1人50分程度) 会場 保健センター ☎625・9200 大横保健福祉センター、東浅川保健福祉センター ☎667・1331、南大沢保健福祉セ

ンター ☎679・2205 費用 無料 申し込み 1月6日から電話で各センター ※特定保健指導対象の方は各保険者にご相談を。

野良猫の不妊去勢手術 助成金の申請受付を終了

飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成金は、平成25年度実施分の申請受付を終了しました。問い合わせは保健所生活衛生課 ☎645・5113へ。

ういずサービス協力員の 登録説明会

高齢や病気、出産などで家事にお困りのご家庭に協力員を派遣する「ういずサービス」(在宅福祉サービス)。家事援助などを行っていただけ協力員を募集するため、説明会を開催します。

対象 20歳以上の方 日時 1月30日(木)午後2～4時 会場 ボランティアセンター 申し込み 1月6日から電話で社会福祉協議会 ☎649・5010

訪問介護員資質向上研修

対象 市内在住・在勤で、訪問介護員2級の資格をお持ちの、訪問介護員として就労していない方 日時 2月10・18・27日、3月7日の午後1時30分～4時30分(2月10日、3月7日は午後5時まで。全4回) 会場 市立看護専門学校など 定員 15名(抽選) 費用 千円 申し込み ハガキ、ファックス、Eメールに「介

護資質向上研修」と住所・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号を書いて、1月15日(必着)までに八王子市役所高齢者いきいき課 〒192・8501 ☎620・7243、FAX 624・7720、Eメール b440300@city.hachioji.tokyo.jp

あつたか元気倶楽部(くらぶ)

対象 市内在住・在勤で18歳以上の方 内容 リズム体操、練功十八法など 日時 ①2月6・13・20・27日の午後1時30分～2時50分(全4回)、②2月24日(月)午前11時10分～12時30分 会場 あつたかホール 定員 ①40名、②30名(ともに抽選) 費用 ①2千100円、②525円 申し込み 往復ハガキ(1人1枚1教室)に「元気倶楽部」と希望番号、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信面の宛名を書いて、1月20日(必着)までにあつたかホール 〒192・0906 北野町5963 ☎645・0025

楽しい歌声教室

対象 市内在住で60歳以上、または障害のある方 日時 1月9日(木)午後2時～3時30分 会場 南大沢保健福祉センター ☎679・2205 定員 60名(先着順) 費用 100円 申し込み 不要、直接会場へ

介護予防講座 「歌って楽しく脳活性」

対象 市内在住で65歳以上のパワーアップ

プ音楽教室を未受講の方(介護保険認定者を除く) 日時 1月29日(水)午後1時30分～3時 会場 南大沢保健福祉センター 定員 25名(先着順) 費用 無料 申し込み 1月6日から電話で南大沢保健福祉センター(☎679・2205)

手話によるおはなし会

手話で絵本などの読み聞かせを行います。手話のみで音声はありません。

対象 聴覚障害のある方 日時 1月12日(日)午後3時～3時30分 会場 中央図書館(☎664・4321、FAX 662・7789) 定員 20名(先着順) 費用 無料 申し込み 不要、直接会場へ

聴覚障害者のついで

日時 ①1月11日、2月8日、3月8日の午後2～4時、②1月18日、2月15日、3月15日の午後2時30分～4時30分 会場 ①心身障害者福祉センター(☎624・5850)、②南大沢保健福祉センター(☎679・2205) 定員 ②のみ40名(先着順) 費用 無料 申し込み 不要、直接会場へ

精神保健講演会 「発達障害ってなに」

対象 市内在住・在勤の方 日時 1月23日(木)午後2～4時 会場 南大沢市民センター 定員 70名(先着順) 費用 無料 申し込み 1月7日から電話で保健所保健対策課(☎645・5196)



ファミリー・サポート・センターの説明会

子育ての手助けをしてほしい方(依頼会員)に、お手伝いできる方(提供会員)を紹介するファミリー・サポート・センターの仕組みを説明します。①③は託児があります。

日時 ①1月20日(月)午後2時30分～4時、②2月9日(日)午前10時～11時30分、③3月8日(土)午前10時～11時30分 会場 ①南大沢市民センター、②市役所8階801会議室、③学園都市センター 定員 ①30名、②③各50名(いずれも先着順) 申し込み 1月6日から電話でファミリー・サポート・センター(☎621・7001)

保健福祉センターの教室

各教室とも講話と実習(希望者にはだ液テストも)を行います。定員は各15組(先着順)。費用は無料です。

初めてのほみがきレッスン

対象 市内在住で平成25年3～8月生まれのお子さんと保護者 期日・会場 ①2月6日(木)：保健センター、②2月13日(木)：南大沢保健福祉センター分室 時間 午前10～11時、午後2～3時 申し込み 電話で①は1月22日から大横保健福祉センター(☎625・9200)、②は29日から南大沢保健福祉センター(☎679・2205)

こども歯科教室

対象 市内在住で①平成24年7月～25年1月生まれのお子さんと保護者、②③24年8月～25年2月生まれのお子さんと保護者 期日・会場 ①1月24日(金)：保健センター、②2月12日(水)：保健センター、③2月18日(火)：南大沢保健福祉センター分室 時間 午前10～11時、午後2～3時 申し込み 電話で①は1月8日、②は29日から大横保健福祉センター(☎625・9200)、③は30日から南大沢保健福祉センター(☎679・2205)

むし歯予防教室

対象 市内在住で平成23年1月～24年6月生まれのお子さんと保護者 日時 1月21日(火)午前10～11時 会場 南大沢保健福祉センター分室 申し込み 1月7日から電話で南大沢保健福祉センター(☎679・2205)

ぴよぴよ絵本のじかん

対象 市内在住で1・2歳のお子さん



▲親子で絵本に触れ合って

と保護者 内容 絵本の読み聞かせ、手遊びなど 日時 1月15日(水)午前10時30分～11時30分 会場 生涯学習センター南大沢分館 定員 15組(先着順) 費用 無料 申し込み 1月5日から直接、または電話で南大沢図書館(☎679・2201)

プレママさん赤ちゃんとお遊ぼう

対象 市内在住の妊婦 日時 1月21日(火)午前10時～正午 会場 地域子ども家庭支援センターみなみ野 定員 10名(先着順) 費用 無料 申し込み 1月6日から電話で地域子ども家庭支援センターみなみ野(☎635・4152)

市の嘱託員を募集

詳しくは市のホームページをご覧ください

4月から採用予定の市の嘱託員を下表のとおり募集します。対象や選考方法など、詳しくは市のホームページをご覧ください。各問い合わせ先までご連絡ください。

募集職種	必要な資格・経験・技能など ※掲載しているのは一部です。詳しくは市のホームページでご確認ください	申込期間	問い合わせ
都市政策研究所専門研究員	行政学を専攻、社会調査の経験、平成26年4月1日現在で博士課程(大学院博士後期課程)修了以上の学歴	1月15日～2月12日	都市戦略課(☎620・7335)
事務職(身体障害者嘱託員)	身体障害者手帳の交付を受けている、自力で通勤・勤務可能、活字印刷文による出題に対応できる	1月24・26日	職員課(☎620・7203)
滞納整理事務嘱託員	パソコン操作ができる	1月10～22日	納税課(☎620・7344)
霊園管理業務専門員	普通自動車免許、樹木せん定、草刈機使用経験	1月27日～2月7日	市民生活課(☎620・7231)
介護予防・地域包括支援員	普通自動車免許をお持ちで、パソコン操作ができ、次のいずれかに該当 ▶保健師 ▶地域ケアや地域保健に関する1年以上の業務経験がある看護師 ▶3年以上の実務経験がある看護師	1月14～31日	高齢者いきいき課(☎620・7243)
介護認定審査事務専門員	介護支援専門員の資格、認定調査の経験	1月6～17日	介護保険課(☎620・7414)
給付事務専門員	介護支援専門員の資格	1月6～17日	介護保険課(☎620・7442)
第三者行為求償事務専門員	第三者行為求償事務の経験	1月27日～2月7日	保険年金課(☎620・7235)
保健指導員	普通自動車免許、保健師免許	1月14～31日	大横保健福祉センター(☎625・6501)
東浅川保健福祉センター専門員(受付事務など)	変則勤務が可能(夜間勤務あり)、パソコン操作ができる	1月6～20日	東浅川保健福祉センター(☎667・1331)
母子保健指導員	普通自動車免許、保健師免許	1月6～31日	
南大沢保健福祉センター事務員(受付事務など)	普通自動車免許、パソコン操作ができる	1月6～18日	南大沢保健福祉センター(☎679・2205)
保健所診療放射線技師等専門員	診療放射線技師の実務経験	1月15～31日	保健所保健対策課(☎645・5162)
保健所感染症保健指導員	次のいずれかに該当 ▶感染症対策の実務経験がある保健師 ▶3年以上の実務経験がある保健師	1月15～31日	保健所保健対策課(☎645・5195)
子ども家庭相談支援員兼地域子ども家庭支援センター管理員	次のいずれかに該当 ▶平成26年4月1日現在で社会福祉士、または臨床心理士の資格を取得、または取得見込 ▶子ども家庭の相談支援業務の経験が3年以上ある	1月6～23日	子ども家庭支援センター(☎656・8225)
児童館分館管理嘱託員	保育士の資格、または教員免許	2月3～14日	児童青少年課(☎620・7435)
心理相談員	臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士の資格、または受験資格	1月6～24日	教育支援課(☎664・5124)
小中一貫教育講師	理科、または英語の中学校教員免許	1月6～20日	指導課(☎620・7405)
生涯学習センター受付・相談員	パソコン操作ができる	1月6～15日	学習支援課(☎648・2231)
教育委員会事務局運営推進員	パソコン操作ができる	1月6～24日	教育総務課(☎620・7323)
学校図書館サポーター(読書推進担当)	普通自動車免許をお持ちで次のいずれかに該当 ▶司書 ▶司書補 ▶司書教諭	1月6～20日	教育センター(☎664・1135)

木原実さんが講演「地球温暖化」

12月15日にオリンパスホール八王子で気象予報士の木原実さんをお迎えし、環境講演会と映画上映会を開催しました。木原さんは地球温暖化のメカニズムや家庭での省エネ対策について、写真やイラストを交えてわかりやすく解説。子どもたちはペットボトルを使って雲を作る実験や、1日の二酸化炭素排出量を風船で体感するコーナーに参加するなど、楽しみながら環境問題について学んでいました。



WATCHING HACHIOJI
ウォッチング

はちおうじ

まちの話題



アートでまちをきれいに

12月13日、西片倉只沼公園付近の橋脚に壁画アートが完成しました。これは、日本工学院八王子専門学校(グラフィックデザイン科・2年)の学生グループが落書き防止の願いを込めて制作したものです。

リーダーの岡鷹平さん(写真左から3番目)は「絵を見た人が明るい気持ちになるようなデザインにしました。日頃、学んでいることをいかせてうれしいです」と完成した喜びを話していました。

学生発表会を開催

大学コンソーシアム八王子学生発表会を12月7・8日に学園都市センターで開催しました。これは、八王子地域の23大学などの学生が、幅広い分野の研究成果やアイデアを発表するもの。

8日には、学生が市長に直接提案し、意見交換をする「学生と市長とのふれあいトーク」が行われ、学生による中小企業の海外進出支援など、学生らしい発想による市政提案が発表されました。





市からのお知らせ

募集

■「八王子画廊散歩」の出品作品

3月6日から市内9か所で開催する同展の作品を募集します。

対象 18歳以上の方 **募集作品** 絵画やイラスト、彫刻、陶芸など(1人2点まで) **費用** 3千円(2点で4千500円) **申し込み** 夢美術館などで配布する申込用紙に必要事項を記入して、1月20日(消印有効)までに郵送で同実行委員会(〒192-0911 打越町97-6 佐々木宛) 問い合わせ 夢美術館 ☎621-6777

税金

■市税や国民健康保険税の延滞金と還付加算金の割合を変更

1月1日から市税や国民健康保険税の延滞金と、納めすぎた税金をお返しするときの還付加算金の割合が法改正により変更になります。

延滞金は年9.2%(納期限の翌日から1か月を経過する日までは年2.9%)、還付加算金は年1.9%です。詳しくは、市税は納税課(☎620-7224)、国保税は保険収納課(☎620-7237)までお問い合わせください。

ごみ・環境

■年始のごみの収集日の確認を

年始のごみ・資源物の収集は平常と異なります。収集カレンダーでご確認ください。年始は、ごみや資源物が大量に出されることで収集に時間がかかります。数回に分けて出すなど、ご協力をお願いします。問い合わせは、ごみ総合相談センター(☎696-5353)へ。

○可燃ごみ

▼月・木地区: 1月6日(月)から
▼火・金地区: 1月4日(土)から
○不燃ごみ、資源物など
地域で異なりますので、収集カレンダーでご確認ください。

○粗大ごみ・紙類などの持ち込み

1月4日(土)から。持ち込み先は次のとおりです。粗大ごみを持ち込む際は住所が確認できるものをお持ちください。

▼燃やす粗大ごみ: 戸吹清掃工場
▼燃やさない粗大ごみ: 戸吹不燃物処理センター

※多摩ニュータウン地域にお住まいの方は粗大ごみを多摩清掃

救急診療

- 毎日の午後8時～11時
夜間救急診療所(小児科・内科)
☎625-9910 台町4-33-13
小児・障害メディカルセンター内
※まずは夜間救急診療所へお電話を。
- 随時(24時間)
南多摩病院(小児科)
☎663-0111 散田町3-10-1
- 奇数日の午後11時～翌朝
東海大学八王子病院(小児科)
☎639-1111 石川町1838
- 偶数日の午後11時～翌朝
東京医大八王子医療センター(小児科)
☎665-5611 館町1163

症状が重く、特に緊急を要する場合

- 奇数日の通常診療終了～翌朝(日曜・祝日は午前8時30分～翌朝)
東海大学八王子病院(小児科)
☎639-1111 石川町1838
- 偶数日の通常診療終了～翌朝(日曜・祝日は午前9時～翌朝)
東京医大八王子医療センター(小児科)
☎665-5611 館町1163

救急車を呼ぶべきか迷ったら
消防庁救急相談センター(24時間)
☎#7119または☎042-521-2323

救急病院の案内(24時間)

- 消防庁救急相談センター
☎042-521-2323
- 八王子消防署 ☎625-0119
- 東京都保健医療情報センター
☎03-5272-0303

休日歯科応急診療所(午前9時～午後4時)
☎622-7026 台町4-33-13
小児・障害メディカルセンター内

※休日当番医は市のホームページでもご確認ください。



▼休日耳鼻咽喉科

13日(午前9時～午後5時)
高尾耳鼻咽喉科医院
東浅川町879-4 ☎668-0800

▼休日産婦人科

3・5・12・13日(午前9時～午後5時)
米山産婦人科病院
新町 2-12 ☎642-5225
(要事前連絡)

1・2日(午前9時～午後5時)
八王子医療センター
館町1163 ☎665-5611
(要事前連絡)

▼休日救急診療の内科・外科・小児科

2日(午前9時～午後5時)

高月整形外科病院 (外)
高月町360
☎692-1115

クリニックO(ゼロ) (内)
寺田町490
☎666-1556

東中野診療所 (内・外)
東中野76-2
セフネットビル1階
☎674-1660

ささき医院 (内)
大塚494-1
☎676-6655

1日(午前9時～午後5時)

おおしま内科医院 (内)
子安町4-15-14 バイオ1階
☎670-7755

酒井内科医院 (内)
千人町2-7-8
☎661-2539

東中野診療所 (内・外)
東中野76-2
セフネットビル1階
☎674-1660

富士森内科クリニック (内)
台町2-14-20
☎621-0300

工場(多摩市)に持ち込めます。事前に南大沢清掃事業所(☎674・0551)へお申し込みを。

▼紙類:戸吹清掃工場、館・南大沢清掃事業所の各紙資源持込場所

○し尿収集

1月6日(月)から。問い合わせは水再生課(☎656・2281)へ。

■ハガキ・封書のリサイクル

郵便局と協力し、不要なハガキと封書(写真付き、窓付きも可)を回収します。回収箱は市内の各郵便局と市役所2階(み減量対策課)に設置。期間は1月20日から2月24日までです。問い合わせは、ごみ総合相談センター(☎696・5353)へ。

くらしの安全・防災

■外国人のための防災訓練

対象:市内在住・在勤・在学の外国人
集合:2月1日(土)午前8時にクリエイティブホール前(解散は午後1時30分頃同所) 会場:立川防災館 定員:23名(先着順) 費用:無料 申し込み:1月6(日)に電話で多文化共生推進課(☎620・7437) ※当日は英語、中国語、韓国・朝鮮語の通訳が同行します。

■消費者市民社会を考える集い

日時:1月28日(火)午後2時~4時

資料館だより94号を無料で配布

郷土資料館(☎622・8939)

▼休日救急診療の内科・外科・小児科

13日(午前9時~午後5時)

鳥羽クリニック (内) (児)

みつい台1-18-1
☎691-1044

椎名内科 (内)

本町9-8
ペラー・ジュハ王子1階
☎628-4170

澤渡循環器クリニック

打越町11971
ステップコートはけしたビル1階
☎632-0255 (外)(内)

中村医院 (内) (児)

めじろ台1-18-4
☎661-5191

■保護者向けセミナー

就職活動中の学生などのサポート方法について解説します。

対象:就職活動を控えている学生などの保護者
日時:1月15日(水)午後5時30分~7時 会場:学園都市センター 定員:30名(先着順) 費用:無料 申し込み:電話で八王子新卒応援ハローワーク(☎631・9505) 問い合わせ:産業政策課(☎620・7252)

産業・イベント

30分 会場:クリエイティブホール 定員:170名(先着順) 費用:無料 申し込み:電話、または「市民社会」と氏名、電話番号を書いてファックスで消費生活センター(☎631・5456、FAX643・0025) ※1歳~就学前のお子さんを5名先着順お預かりします。1月10日までにご予約を。

空間放射線量(12月18日)			
問い合わせは放射線相談窓口(☎620・7283)へ			
測定場所	測定値	測定場所	測定値
富士森公園(台町二丁目)	0.06	松竹農村公園(下恩方町)	0.08
清水公園(犬目町)	0.07	落合公園(高尾町)	0.07
わくわくビレッジ(川町)	0.06	大塚公園(松が谷)	0.06
宇津貫公園(七国六丁目)	0.04	久保山公園	0.05
上柚木公園	0.05	美山中央児童遊園	0.08
鳥栖公園(川口町)	0.08	大和田河川敷広場	0.07

※地上1mで測定。単位はマイクロシーベルト/時。測定値は、震災前の値(新宿区百人町で測定)と大きな差はありません。

▼休日眼科

2日(午前9時~午後5時)

藤田眼科

横山町21-16 ☎645-0575

▼休日救急診療の内科・外科・小児科

12日(午前9時~午後5時)

知野整形外科医院

横山町20-15
ノモス八王子1階
☎643-0073

金井内科医院 (内)

東浅川町336-5
☎663-1677

渡辺医院 (児) (内)

長房町373-2
☎663-3263

午前10時~午後6時

古谷医院 (内) (児)

みなみ野1-2-1
アクロスモール八王子みなみ野2階
☎632-6866

5日(午前9時~午後5時)

八王子クリニック (外)

横山町11-5
斗南堂ビル4階
☎643-3717

内科・循環器内科クリニック高田 (内)

別所2-2-1クレーヴィア
京王堀之内パークナードII
☎670-2039

鈴木診療所 (児) (内)

子安町2-10-14
☎642-3923

宇津木台クリニック (内) (児)

久保山町2-43-3
☎691-4880

3日(午前9時~午後5時)

みなみ野シテイクリニック (内)

みなみ野5-15-1
☎632-5500

南大沢メディカルプラザ (内)

南大沢2-25フォレスト
モール南大沢3階
☎670-2460

辻医院 (内) (外) (児)

横山町21-4
☎643-0205

こどもクリニック (児)

えみんぐ
台町4-33-13
☎634-9008

13 広報はちおうじ 2014.1.1

産業・じぶと

■イノベーション人材育成講座

対象＝市内のものづくり中小企業の社員 内容＝アイデア考案の実践的学習など 日時＝2月8日、3月1日の午後1時30分～6時(全2回) 会場＝先端技術センター「開発・交流プラザ」(旭町) 定員＝20名(先着順) 費用＝3万円 申し込み＝電話で企業支援課(☎620・7379)

講座・教室

■親子里山保全体験講座

堆肥や笹舟、草笛づくり体験を通して、里山の大切さを学びます。対象＝小学生と保護者(2人1組) 日時＝1月25日(土)午前9時～午後2時(雨天中止) 会場＝堀之内里山保全地域 定員＝10組(先着順) 費用＝1組5000円(昼食付き) 申し込み＝1月6日から電話、または講座名と住所・参加者全員の氏名・電話番号を書いて、ファックスで環境保全課(☎620・7268、FAX626・4416)

■八王子車人形をみよう

■初心者のための解説講座

日時＝1月12日(日)午後2～4時 会場＝学園都市センター 定員＝

200名(先着順) 費用＝3000円(学生は無料) 申し込み＝不要、直接会場へ 問い合わせ＝学園都市文化ふれあい財団(☎621・3005)

■男女共同参画センターの講座

①あなたの知らないデイズニ映画の意外な一面 内容＝メディアの情報の読み解き方の学習 日時＝2月1日(土)午前10時～正午 定員＝50名(抽選) 費用＝無料 ②再就職へ一歩踏み出す女性を応援！ライフプランづくり 対象＝過去に職務経験が1年以上ある女性で、再就職をめざす方 日時＝2月6・13・20・27日の午後2～4時(全4回) 定員＝24名(抽選) 費用＝8000円

③韓国ドラマで学ぶ女性の生き方

日時＝2月9日(日)午前10時～正午 定員＝72名(抽選) 費用＝無料 会場＝クリエイティブホール 申し込み＝往復ハガキ、ファックス、Eメールに講座名と住所・氏名・年齢・電話番号、往復ハガキは返信面の宛名を書いて、①は1月17日、②は18日、③は20日(いずれも必着)までに八王子市男女共同参画センター(〒192・0082東町5・6 ☎648・2230、FAX644・3910、Eメールb050900@city.hachioji.tokyo.jp) ※市のホームページからも申し込みできます。また、1歳～就学前のお子さん

を各5名(抽選)お預かりします。「託児」とお子さんの名前(ふりがな)、年齢・月齢のお書き添えを。

■シニア元氣塾実践講座

高齢者活動コーディネーターの役割やボランティア活動について学びます。

対象＝市内在住の60歳以上でボランティアなどの活動経験がある、またはシニア元氣塾基礎講座を修了した方 日時＝2月6・13・20・27日、3月6・13日の午後2～4時(全6回) 会場＝市民体育館 定員＝50名(抽選) 費用＝無料 申し込み＝往復ハガキ(1人1枚)に「シニア」と住所・氏名・年齢・電話番号、ボランティアなどの活動内容・シニア元氣塾基礎講座修了の有無、返信面の宛名を書いて、1月17日(必着)までに八王子センター元氣健福祉センター内) 問い合わせ＝高齢者いきいき課(☎620・7243)

■アクティブ市民塾「必見シニアのための快適住居づくり」

内容＝高齢者や障害者の住環境に関する相談や支援を行う団体の紹介と福祉制度の活用方法 日時＝1月25日(土)午前10時30分～12時30分 会場＝市民活動支援センター 定員＝30名(先着順) 費用＝無料 申し込み＝1月4日から電話で市民活動支援センター(☎646・1577)

催し

■あったかホールフリーマーケット

内容＝再生自転車の販売、和太鼓演奏など 日時＝1月19日(日)午前10時～午後3時(フリーマーケットのみ雨天中止) 会場＝あったかホール(☎645・0025)

■献血にご協力を

16歳から69歳までの健康な方にご協力をお願いしています。

日時＝1月16日(木)午前10時～11時45分、午後1～4時 会場＝市役所南側広場 問い合わせ＝都赤十字血液センター(☎042・529・0401)、または福祉政策課(☎620・7240)

■道の駅八王子滝山の催し

▼福袋販売会

日時＝1月1～3日の午前10時～午後4時(無くなり次第終了)

▼道の駅コンサート

内容＝大正琴の演奏 日時＝1月5日(日)午前11時～、午後1時～(各回1時間程度)

▼女川町復興イベント

内容＝海産物などの加工品販売 日時＝1月11～13日の午前9時～午後4時(無くなり次第終了) 会場＝道の駅八王子滝山(☎696・1201)

■檜原斎場施設見学会

日時＝1月15日(水)午前9時30分～、10時30分 会場＝檜原斎場 定員＝各20名(先着順) 費用＝無料 申し込み＝1月4日から電話で檜原斎場(☎620・3101)

スポーツ

■1月の市民体育館の一般利用中止

▼バレーボール：7日(火) ▼ソフトテニス、アーチェリー：8日(水) ▼バスケットボール、和弓、エアロ系シェイプビート：9日(木) ▼パドミントン：10日(金) ▼健康体操、やさしいヨガ、ネオテニス、ミニテニス：13日(祝)

■1月の甲の原体育館の一般利用中止

▼泳法指導：4日(土) ▼バスケットボール：9日(木)

その他

■お詫びと訂正

12月15日号3面でご案内した年末年始カレンダーの消費生活センターの休館日は「12月29日～1月3・5日」、いちょうホール・南大沢文化会館・夢美術館の休館日は「12月29日～1月3・6日」の誤りでした。お詫びして訂正します。

1月 相談カレンダー

年末年始(※印は祝・休日も)を除きます。定員がある相談もあります。

相談名		日時	会場・問い合わせ	相談名	日時	会場・問い合わせ
人権		10日午後1～3時	市役所総務課 ☎620・7201 予約は電話で	住まいのなんでも相談	20～24日の午前9時～午後4時	市役所1階市民ロビー・住宅政策課☎620・7260
女性福祉		※月～金曜日の午前9時～正午、午後1～4時	市役所生活福祉第一課 ☎620・7443 予約は電話で	住宅の増改築に関する相談	※月～金曜日の午前8時30分～午後5時	市役所住宅政策課 ☎620・7260
女性のための	相談	※木曜日の午後1～4時	クリエイトホール8階 男女共同参画センター ☎648・2234 予約は電話で 同センターでは、女性を対象とした一般的な相談もお受けしています(午前9時～午後7時、日曜日、祝日、7日は5時まで)	高齢者総合	※月～金曜日の午前8時30分～午後5時	市役所高齢者福祉課 ☎620・7420
	カウンセリング	※水・土曜日(4日を除く)の午前9時～正午、10・17日の午後4～7時、17日の午前9時～正午、27日午後1～4時		成年後見制度・権利擁護	※月～土曜日の午前9時～午後5時30分	市内15か所の高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)
	弁護士相談	25日午後2～5時		成年後見制度・権利擁護	14・28日の午後2～4時	成年後見・あんしんサポートセンター八王子(社会福祉協議会内) ☎620・7365 予約は電話で
法律		※①月・水・金曜日(6・8・10日を除く)の午後1時10分～4時10分、②火曜日(7日を除く)の午後3時45分～7時、木曜日(9日を除く)の午後1時30分～4時30分、③金曜日(10日を除く)の午後1時30分～4時30分	①市役所市民生活課、②八王子駅南口総合事務所、③南大沢事務所 予約は月曜日(祝・休日の場合は前週の金曜日)の午前9時30分から電話で市民生活課☎620・7227へ	ひとり親家庭	※①月～金曜日の午前9時～正午、午後1～4時、②10日午後2～4時	①市役所子育て支援課、②八王子駅南口総合事務所 予約は電話で子育て支援課☎620・7362へ②は6日午前9時から受け付け
司法書士法律		24日午後1時～3時30分	市役所市民生活課 ☎620・7227 予約は当日午前9時30分から電話で	専門家による子育て相談	毎週日曜日の午前11時～正午(1週目…歯科医師、2週目…薬剤師、3週目…小児科医師、4週目…栄養士)	クリエイトホール1階 子ども家庭支援センター ☎656・8225 日時が変更になる場合があります
不動産		21・28日の午後1時～3時30分		子ども家庭総合	午前9時～午後7時(日曜日、祝・休日は5時まで。第1火曜日を除く) ※月～土曜日の午前9時～午後5時	クリエイトホール1階 子ども家庭支援センター ☎656・8225
登記		14日午後1時～3時30分		総合教育相談室	※月～金曜日の午前8時30分～午後5時	市内5か所の地域子ども家庭支援センター
相続・遺言等暮らしの手続		16・23日の午後1時～3時30分	市役所市民生活課 ☎620・7227 予約は当日午前9時30分から電話で	こども電話相談	※月～金曜日の午前8時30分～午後5時	教育センター ☎664・3665 (子ども専用)
交通事故		16・23・30日の午後1時20分～4時15分		あなたの心の相談室	※火・木・金曜日(7・9・10日を除く)の午前10時～午後3時	市役所検査棟1階相談室 ☎621・5657 面談の予約は電話で
消費生活相談		※月～土曜日の午前9時～午後4時30分		こころの健康相談	※月～金曜日の午前9時～午後4時30分	保健所保健対策課(地域保健担当) ☎645・5196
外国人の生活相談	生活相談	※月～土曜日の午前10時～午後5時	クリエイトホール地下1階 消費生活センター ☎631・5455	HIVに関する相談・検査	※水曜日の午後1時30分～4時30分	保健所保健対策課(感染症対策担当) ☎645・5195
	行政書士相談	11日午後2～5時		医療に関する電話相談	※月～金曜日の午前9時30分～正午、午後1～4時	医療安全支援センター(保健所内)☎645・5118
団塊・シニア世代の地域参加支援		※月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分	市役所協働推進課(支援デスク)☎627・0802	保健・栄養・歯科相談	※月～金曜日の午前9時～午後4時	大横保健福祉センター(保健センター内)☎625・9200 予約は電話で
起業に関する相談		①7・14・28日の午後1～4時、②21日午後1～4時	①サイバーシルクロード八王子(明神町二丁目)、②SOHOプラザニュー八王子(横山町) 予約は電話でサイバーシルクロード八王子 ☎639・1009へ	理学療法士による健康相談	21日午後1時30分～4時(65歳以上の方)	大横保健福祉センター ☎625・6501 予約は電話で
				保健福祉・栄養	午前9時～午後4時(第2月曜日を除く)	東浅川保健福祉センター ☎667・1331 予約は電話で
				理学療法士による健康相談	9・23日午前9時～11時30分(65歳以上の方)	南大沢保健福祉センター ☎679・2205、FAX679・2214 予約は電話、またはファックスで
				保健福祉・栄養・歯科	※月～土曜日の午前9時～午後4時	
				理学療法士による健康相談	28日午後1時15分～4時10分(65歳以上の方)	

消防団 出初式

日時 1月12日(日)午前9時～11時30分
会場 浅川河川敷広場(元本郷町四丁目)

問 防災課(☎620・7208、
FAX626・1271)へ

正月の風物詩の一つとなっている消防の祭典「出初式」。市消防団員による分列行進、八王子消防記念会の「木遣り(きやり)行進」や「はしご乗り」の実演、市消防団音楽隊の演奏、八王子消防署によるはしご車の演技などを行います。

※当日午前7時に、市内89か所の消防団器具置場でサイレンを鳴らします。火災などとお間違えのないようにご注意ください。また、来場の際は駐車場の利用台数に限りがありますので、バスなどの公共交通機関をご利用ください。

八王子市役所
☎042・626・3111(代表)
〒192-8501元本郷町3-24-1
http://www.city.hachioji.tokyo.jp/
http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/ (モバイル版)

新春初笑い寄席

日時 1月26日(日)午後3時～3時45分
会場 戸吹湯ったり館

問 戸吹湯ったり館(☎696・6113、FAX696・6112)へ

拓殖大学落語研究会の皆さんが新春にふさわしい落語や漫才を披露し、笑顔をお届けします。ぜひ、お越しください。

定員 30名(先着順)

費用 無料(入館料は必要)

申し込み 不要、直接会場へ



▲1年の始まりを笑顔で

世帯と人口 (平成25年11月末日現在)

住民基本台帳			前月比	住民基本台帳			前月比
人口	男	282,816	-90	世帯数	255,732	-14	
	女	280,991	-138	うち外国人住民		前月比	
	計	563,807	-228	人口	9,053	+18	

国勢調査の集計結果 (平成22年10月1日現在)

人口	男	293,462	世帯数
	女	286,591	
	計	580,053	249,893

※市内に居住している方の実態を表しています。

本紙は毎月1日
と15日に発行

編集 広報課

☎620・7228

FAX626・3858

配布 シルバー人材センター

☎626・1274

FAX626・5159